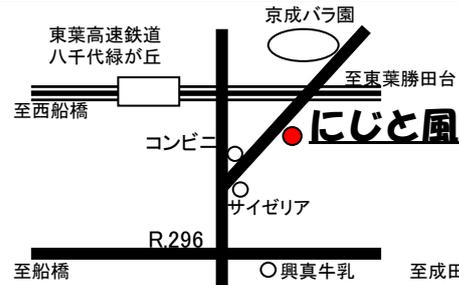


にじと風だより

発行 特定非営利活動法人にじと風福祉会
〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田453-126
TEL 047-480-0801 FAX 047-480-0807
発行人 吉野眞里子/yosino@asahi-net.email.ne.jp



秋らしくなりました

つい先週まで35度、どこにいても暑い日でしたのに、今日はいわし雲、涼しい空気が満ちていました。庭の虫たちもやっと良い声を聴かせてくれています。咲き残りの朝顔も濃い青紫の花が澄んだ青空に似合います。猛暑の中、節電の今年の夏休みは疾風のように過ぎました。今年は少し外遊びが少なく、でも室内で新しい遊びをいっぱい見つけました。

体育館を貸していただきましたり光る音の出るダーツをお貸しいただきました。有難うございました。夏の思い出が一杯できました。

非日常の楽しみが一杯あって日常のいろんなこと頑張れます。「にじと風」「さくらいろの風」2か所での活動には不安もありましたがそれぞれが特色をいかしているような遊びを新たに開発していく子供たちに脱帽です。さくらいろの風ではやはりスノーブレンが人気です。夏休みは1年分の様々なことが凝縮されて表に現れる季節でもあります。

子どもたちを取り巻くご家族のこと、学校のこと、社会環境、法律、その総てはこどもたちが安心して安全に育っていくため供されるものであってほしいと願わずにいられません。遊ぶ事の大切さ、それとともにできる職員はまだまだ足りない所だけですが、常に子供の声を聴きご家族の思いに寄り添い自分のものとして受け止め実行できるよう研鑽に励みたいと存じます。

9月の初めの保護者会では預かってもらっているから(遠慮)、初めてこうしてもらいたいと要望が具体的に出ました。子どもの将来を見据えるからこそ出るご意見はともうれしく職員がそれに応えていこうとする日々の改善にもうれしくなります。

「地域のなかでともに豊かに暮らし続ける」ために主体的に活動する第1歩です。

子どもたちも自分なりのやり方で、自分たちで色々なことを決めて遊びます。自分で決めて自分で達成していく中で、お友達の感情、一人でできること、やれない事、してはいけない事、助けがあればできることをいっぱい身に着けてゆきます。この素晴らしい子供たちとともに過ごせる幸せはかけがえのない時間です。

夏休みはお母様たちが給食とおやつを作ってくださいました。2か所分ですので平均40食です。それぞれのご家庭の美味しいお料理！こどもたちはお替りの行列です。食べることの大切さ、頂きますと

声をそろえて挨拶をし、作り手の見える温かい食事をする事の幸せを感謝いたしました。忙しい中有難うございます。

夏休みに入り8月上旬よりご家庭では暮らせなくなったご兄弟を一時保護委託先として9月初旬までお預かりいたしました。お子様なりに自分の置かれている社会環境のなかで精いっぱい我慢をし立ち向かっていこうとする姿勢にこそ打たれました。

改めて地域の中でのにじと風の役割についても考えさせられるものがありました。何より「子どもの人権」とはなんなのか「人」としての権利、尊厳はなになのかを考えてしまいました。

安心安全な環境をえるために、本人の思いや生活の中から代償として奪ってしまうのを忌避できないこととする事しか選択肢のない社会環境やそれを実施せざるを得ない私たち大人はいったい何者なんだうと考えざるを得ませんでした。

一般的といわれる社会のなかで、その通りになかなかできない人、障害があったり、高齢であったり、病気であったり、子供であったり、することが判断をし決定をし、遂行し、結果に責任を持ち、自分のものとして生きていける社会でありたいです。

現実には程遠く道のりも長く感じられます。

でもあきらめることなく休まずゆっくりではあってもできることから1つずつ力を合わせてというのがにじと風のやり方です。

子どもを真ん中に親と支援者、職員一同この涼しい秋風に乗ってまた頑張らしましょう。

楽しいことと美味しい秋が始まっています。

お役所のちょっといい話

少し前の話なのですが、某市役所の方が一人の利用者のことを「気になっていた」とおっしゃって、「にじと風」に来て下さいました。

その方はその利用者の様子や手当てのことなどを心配してわざわざ様子を見に来てくださったのです。

この仕事に関わる上で、色々な思いをすることも多いのですが、職員共々「何だか嬉しいね」と感激して話をしました。

夏は沢山の行事がありました。
今号2、3頁でご紹介できなかったものは、次号でたっぷりとお伝えしたいと思います。